

3. 西区

■西区の緑の概況

- 西区は、本市の玄関口である熊本駅、海の玄関口である熊本港などの交通の拠点を持っています。
- 区域内には、緑化重点地区である地域拠点（城山地区、上熊本地区）、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸（主要地方道 28 号、県道 303 号）があります。
- 区域の大部分を金峰山が占めており、比較的緑の多い区です。金峰山西側の比較的緩やかな斜面には、ミカン等の果樹園が広がっており有明海を背景に豊かな景観を形成しています。また、東側のスギやヒノキ・クヌギ・コナラ等の人工林が多様な生物の生息地となっています。豊かな自然環境を有する一方で、手入れ不足の竹林が拡大する中、里地里山の景観や環境の維持が課題となっている状況もあります。
- 白川、坪井川、井芹川等の河川敷や周辺の田園地帯なども、多様な生物の生息地となっています。
- 花岡山・万日山風致地区、本妙寺山風致地区、千金甲風致地区が指定されており、良好な自然環境が維持されています。
- 熊本駅周辺は景観計画の重点地域に指定されており、建築物の高さなど眺望に配慮した景観形成基準が定められています。
- 金峰山の麓には住宅地が広がり山地の緑や屋敷林を背景に緑豊かなまちなみが形成されています。



白川



花岡山、万日山

■西区の緑の課題

- 西区の緑被率①【(自然林+人工林+竹林+果樹園+野草地)÷対象区域面積】は 59.6%（市全体：32.8%）、比較的緑被率が高い現状を維持することが望まれます。特に、緑化重点地区である地域拠点における緑化推進とともに、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸において、緑化推進や緑の維持管理が必要です。
- 金峰山、白川、坪井川沿岸等の緑や、身近な公園、河川、社寺林などの緑においては、多様な生物の生息地となっており、緑の維持・保全・活用を図る必要があります。
- 金峰山等においては、手入れ不足による竹林の拡大等も一部見受けられ、景観や環境の悪化へと繋がることから、適切な維持管理が必要となっています。

市民アンケート

- 居住地周辺の緑の量については「緑が多い」という意見、「緑の質に満足している」という意見が多くあり、引き続き緑の保全を継続することが必要です。
- 居住地周辺の緑を感じる場所として「森林の緑」に関する意見、緑を重点的に保全していくべき場所として、「熊本城や花岡山等の中心市街地周辺の緑の保全」に関する意見が多く、これらの緑の保全が必要です。

■西区の緑化方針

本市の代表的な山である金峰山の緑、玄関口である熊本駅やその背後にある花岡山・万日山の緑、白川等の水辺の緑などを活かしながら、豊富な緑が連なり華のある「森の都」の実現に向けた緑のまちづくりを推進します。

●豊かな自然の保全・共生【緑を守る】

- 金峰山等における、森林の有する多面的な機能を高度に発揮できる森林管理の推進
- 花岡山・万日山風致地区、本妙寺山風致地区、千金甲風致地区の緑の保全及び緑化の啓発
- 金峰山等における放置竹林対策の取組の拡大
- 麴川の自然環境に配慮した水辺空間形成の推進、白川等の自然環境に配慮した水辺空間形成の促進
- 熊本市景観計画や熊本農業振興地域整備計画に基づいた田園の保全

【各区共通】

- 地下水かん養能力の高い森林の保全
- 絶滅危惧種等の貴重な在来種を含めた生物多様性の保全と外来種対策

●緑あふれる都市づくりに向けた緑の創出【緑を育む】

- 緑化重点地区である中心市街地、地域拠点（城山地区、上熊本地区）、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸（主要地方道 28 号、県道 303 号）の緑化推進（壁面緑化・屋上緑化・多様な主体との連携による緑化等）や緑の維持管理（街路樹・植栽樹・公園の維持管理等）による地域の魅力向上
- 熊本駅周辺の緑豊かな景観形成

【各区共通】

- 宅地などの民有地・商業地・工業地におけるまちぐるみの緑化推進
- 学校、社会体育施設などの公共施設における緑化充実

●さまざまな機能を持つ緑の魅力づくり【緑を活かす】

- 金峰山の整備された遊歩道等の維持管理

- 市民ニーズに対応した住区基幹公園、都市基幹公園（石神山公園）、歴史公園（岩戸の里公園）、緑地等の維持管理や活用

●**緑を支える人づくり・組織づくり【緑を繋げる】**

- 金峰山等の森林における環境教育の場としての活用
- 金峰山における市民参加の自然観察会の開催の推進

【各区共通】

- 地域のボランティアや PTA 等と連携した学校緑化
- 公園愛護会の活動促進
- 公共施設愛護団体（道路ふれあい美化ボランティア、河川ふれあい美化ボランティア等）の育成や街路樹愛護会の設置促進
- 森林ボランティアの育成
- 緑化活動を通じた健康づくりの実施



金峰山と周辺の緑

西区の
緑化方針図

■地域拠点(城山地区、上熊本地区) ■住区基幹公園・都市基幹公園
(石神山公園)・歴史公園(岩戸の里公園)・緑地等の維持管理
、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸の緑化推進や緑の維持管理による地域の魅力向上

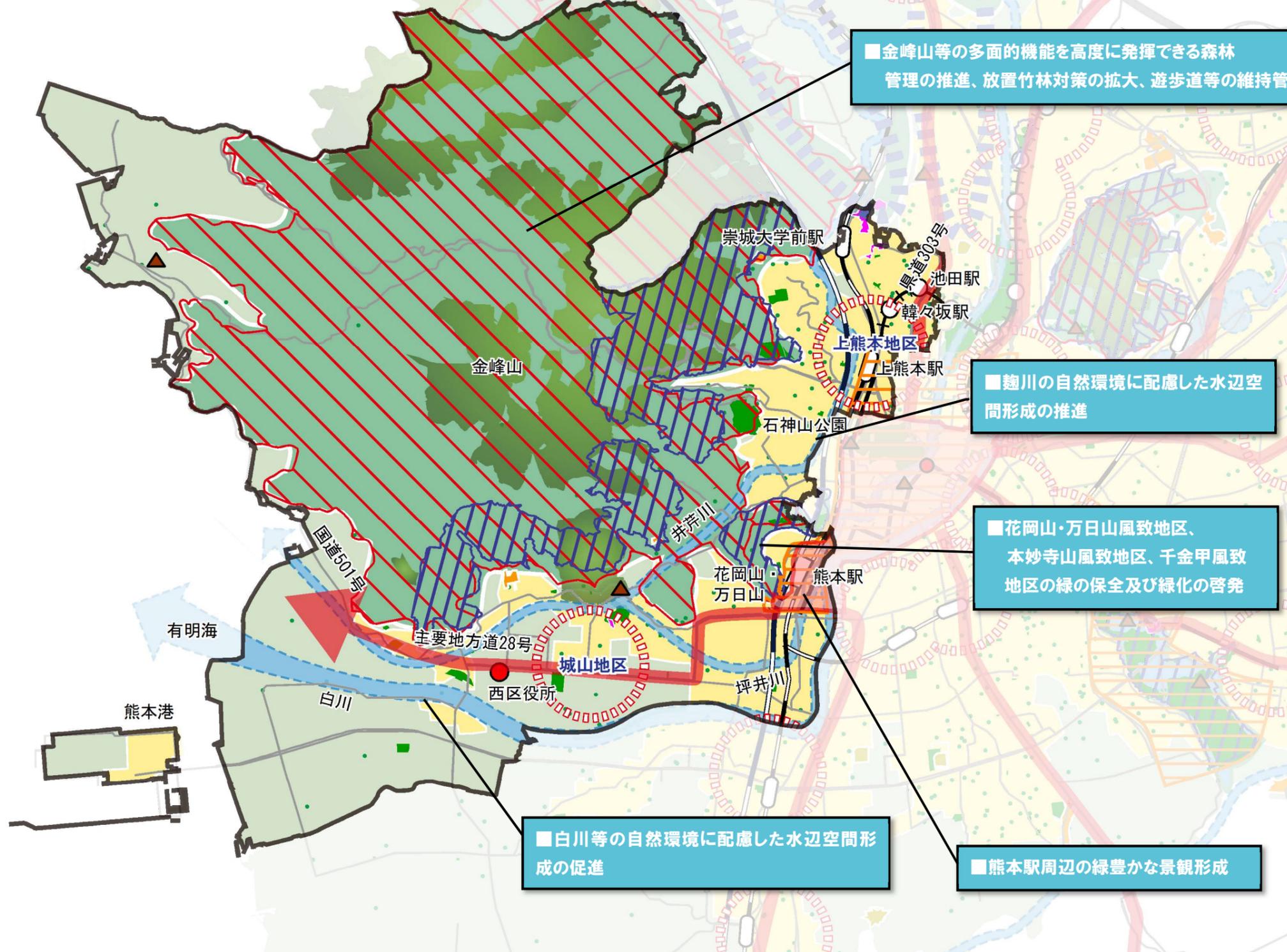
■金峰山等の多面的機能を高度に発揮できる森林管理の推進、放置竹林対策の拡大、遊歩道等の維持管理

■麴川の自然環境に配慮した水辺空間形成の推進

■花岡山・万日山風致地区、本妙寺山風致地区、千金甲風致地区の緑の保全及び緑化の啓発

■白川等の自然環境に配慮した水辺空間形成の促進

■熊本駅周辺の緑豊かな景観形成



緑化重点地区

- 中心市街地の緑
- 地域拠点の緑
- 中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸の緑

特色や地形を活かした4つのゾーン

- 賑わいと潤いのある中心市街地の緑創出ゾーン
- 豊かな緑を守り伝える自然環境保全・共生ゾーン
- 花と緑で彩る市街地の緑創出ゾーン
- 広大な田園を守り活かす田園共生ゾーン

法・条例による緑の保全

- 保安林
- 県立自然公園
- 風致地区
- 環境保護地区
- 天然記念物
- 景観計画の重点地域

協定による緑の保全

- 緑地協定

都市公園や河川等

- 都市公園(都市緑地)
- 河川沿いの緑化及び緑地保全

骨格となる交通網

- 高速道路
- JR
- 市電
- 新幹線
- 熊本電鉄
- 主要道路

4. 南区

■南区の緑の概況

- 南区は、区域の半分以上に田園地帯が広がっています。
- 区域内には、緑化重点地区である地域拠点（平成・南熊本地区、刈草地区、富合地区、城南地区、川尻地区）、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸（国道3号・266号、主要地方道50号、県道297号）があります。
- 雁回山、吉野山、広大な田園地帯等や白川、緑川、加勢川、浜戸川、緑川河口の塩生湿地など豊かな水と緑の自然環境を有しており、多様な生物の生息地となっています。豊かな自然環境を有する一方で、手入れ不足の竹林が拡大する中、里地里山の景観や環境の維持が課題となっている状況もあります。
- 自然堤防上に古くから形成された住宅地は、屋敷林や庭木等の緑が多く、良好なまちなみを形成しています。
- 北側は市街化が進み、市街地整備により良好な居住環境が形成されています。



雁回山



緑川

■南区の緑の課題

- 南区の緑被率①【(自然林+人工林+竹林+果樹園+野草地)÷対象区域面積】は19.1%（市全体：32.8%）、緑被率②【(自然林+人工林+竹林+果樹園+野草地+水田+畑)÷対象区域面積】は61.2%（市全体：58.6%）となっています。緑被率①が低いことから、その向上が必要です。特に、緑化重点地区である地域拠点において緑化を推進するとともに、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸において、緑化推進や緑の適切な維持管理が必要です。
- 雁回山、吉野山、白川・緑川・加勢川・浜戸川沿岸や広大な田園等の緑や、身近な公園、河川、社寺林などの緑は、多様な生物の生息地となっており、緑の維持・保全・活用を図る必要があります。
- 雁回山等においては、手入れ不足による竹林の拡大等も一部見受けられ、景観や環境の悪化へと繋がることから、適切な維持管理が必要となっています。

市民アンケート

- 居住地周辺の緑を感じる場所として「果樹園や水田、畑の緑」といった意見が多い。また、本市の緑を重点的に保全していくべき場所として、「災害の防止に寄与する緑の保全」に関する意見が多く、これらの意見に対応した緑の保全が必要となっています。
- 市街地の緑の将来像については、「緑を増やしたほうがよい」という意見が多くあることから、市街地を中心に緑化推進を図る必要があります。
- 公園については、「公園の数は現状のままとし、施設を増やし利用しやすい公園への改修」という意見、「トイレの維持管理」を望む意見が多くあり、利便性の向上のため、柔軟な対応や適切な維持管理が必要となっています。
- 街路樹については、「落ち葉が少ない樹木や中木、低木等の植え替え」や「除草ができていない」という意見が多くあり、落ち葉の少ない常緑樹への植え替えを含めた街路樹の適切な維持管理が求められています。
- 参加・協力できそうな緑化や緑の保全活動として、「自宅の庭の緑化や生垣づくり」という意見が多く、市民参画を推進させ、地区の緑化や緑の保全を推進する必要があります。

■南区の緑化方針

広大な田園や雁回山の緑、緑川・加勢川・浜戸川等水辺の緑などを活かしながら、自然が豊かでいきいきとした暮らしのある「森の都」の実現に向けた緑のまちづくりを推進します。

●豊かな自然の保全・共生【緑を守る】

- 雁回山や吉野山等における、森林の有する多面的な機能を高度に発揮できる森林管理の推進
- 雁回山等における放置竹林対策の取組の拡大
- 旧天明新川の自然環境に配慮した水辺空間形成の推進、緑川等の自然環境に配慮した水辺空間形成の促進
- 熊本市景観計画や熊本農業振興地域整備計画に基づいた田園の保全

【各区共通】

- 地下水かん養能力の高い森林の保全
- 絶滅危惧種等の貴重な在来種を含めた生物多様性の保全と外来種対策

●緑あふれる都市づくりに向けた緑の創出【緑を育む】

- 緑化重点地区である地域拠点（刈草地区、富合地区、城南地区、川尻地区）、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸（国道3号・266号、主要地方道50号、県道297号）の緑化推進（壁

面緑化・屋上緑化・多様な主体との連携による緑化等）や緑の維持管理（街路樹・植栽樹・公園の維持管理等）による地域の魅力向上

【各区共通】

- 宅地などの民有地・商業地・工業地におけるまちぐるみの緑化推進
- 学校、社会体育施設などの公共施設における緑化充実

●**さまざまな機能を持つ緑の魅力づくり【緑を活かす】**

- 雁回山の遊歩道等の整備
- 時代や市民ニーズに対応した住区基幹公園、都市基幹公園（雁回公園）、歴史公園（塚原古墳）、緑地の維持管理や活用

●**緑を支える人づくり・組織づくり【緑を繋げる】**

- 雁回山等の森林における環境教育の場としての活用
- 雁回山等における市民参加の自然観察会の開催の推進

【各区共通】

- 地域のボランティアや PTA 等と連携した学校緑化
- 公園愛護会の活動促進
- 公共施設愛護団体（道路ふれあい美化ボランティア、河川ふれあい美化ボランティア等）の育成や街路樹愛護会の設置促進
- 森林ボランティアの育成
- 緑化活動を通じた健康づくりの実施



南区の田園地帯

南区の
緑化方針図

■緑川等の自然環境に配慮した水辺空間形成の促進

■旧天明新川の自然環境に配慮した水辺空間形成の推進

■雁回山や吉野山等における多面的機能を
高度に発揮できる森林管理の推進、
雁回山の遊歩道等の整備

■地域拠点(平成・南熊本地区、
刈草地区、富合地区、城南地区、
川尻地区)、中心市街地と地域拠点を
結ぶ公共交通軸の緑化推進や緑の
維持管理による地域の魅力向上

■住区基幹公園・都市基幹公園
(雁回公園)・歴史公園(塚原古墳)・
緑地等の維持管理や活用

緑化重点地区

- 地域拠点の緑
- 中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸の緑

特色や地形を活かした3つのゾーン

- 豊かな緑を守り伝える自然環境保全・共生ゾーン
- 花と緑で彩る市街地の緑創出ゾーン
- 広大な田園を守り活かす田園共生ゾーン

法・条例による緑の保全

- 保安林
- 環境保護地区
- 県立自然公園
- 天然記念物
- 風致地区
- 景観計画の重点地域

協定による緑の保全

- 緑地協定

都市公園や河川等

- 都市公園(都市緑地)
- 河川沿いの緑化及び緑地保全

骨格となる交通網

- 高速道路
- JR
- 市電
- 新幹線
- 熊本電鉄
- 主要道路

5. 北区

■北区の緑の概況

- 北区は、五つの区の中で最も面積が大きい区です。
- 区域内には、緑化重点地区である地域拠点（植木地区、北部地区、楠・武蔵ヶ丘地区、八景水谷・清水亀井地区）、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸（国道3号、主要地方道37号、県道337号・303号）があります。
- 立田山、岩野山、田原坂、白川、井芹川、坪井川、八景水谷など豊かな自然環境を有し、多様な生物の生息地となっているほか、井芹川沿いにある斜面緑地が市街地景観を形成しています。豊かな自然環境を有する一方で、手入れ不足の竹林が拡大する中、里地里山の景観や環境の維持が課題となっている状況もあります。
- 南側は市街地整備により、良好な居住環境と緑が多く良好なまちなみとなっています。
- 八景水谷風致地区が指定されており、良好な自然環境の維持を図っています。



八景水谷公園



植木町の田園

■北区の緑の課題

- 北区の緑被率①【(自然林+人工林+竹林+果樹園+野草地)÷対象区域面積】は 37.2%（市全体：32.8%）、緑被率②【(自然林+人工林+竹林+果樹園+野草地+水田+畑)÷対象区域面積】は 65.3%（市全体：58.6%）となっており、比較的緑被率が高い現状を維持することが望まれます。特に、緑化重点地区である地域拠点において緑化を推進するとともに、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸において、緑化推進や緑の適切な維持管理が必要です。
- 立田山、岩野山、田原坂、白川、井芹川、坪井川、八景水谷の緑や身近な公園、河川、田園、社寺林などの緑においては、多様な生物の生息地となっており、緑の維持・保全・活用を図る必要があります。
- 立田山等においては、手入れ不足による竹林の拡大等も一部見受けられ、景観や環境の悪化へと繋がることから、適切な維持管理が必要となっています。

市民アンケート

○居住地周辺の「緑が多い」という意見や「緑の質に満足している」という意見が多いほか、居住地周辺の緑を感じる場所として「森林の緑」に関する意見が多くあり、これらの緑の維持管理を継続することが必要です。

■北区の緑化方針

本市の代表的な金峰山や市街地の貴重な立田山、京町台地や北部台地の斜面林などの緑、白川・坪井川等の水辺の緑、八景水谷等の水源などを活かしながら、ずっと住み続けたい「森の都」の実現に向けた緑のまちづくりを推進します。

●豊かな自然の保全・共生【緑を守る】

- 立田山等における、森林の有する多面的な機能を高度に発揮できる森林管理の推進
- 八景水谷風致地区の緑の保全及び緑化の啓発
- 立田山等における放置竹林対策の取組の拡大
- 自然公園、保安林に指定されている田原坂における森林の適切な維持管理
- 柿原台地、北部台地における斜面林の適切な維持管理
- 白川等の自然環境に配慮した水辺空間形成の促進
- 熊本市景観計画や熊本農業振興地域整備計画に基づいた田園の保全

【各区共通】

- 地下水かん養能力の高い森林の保全
- 絶滅危惧種等の貴重な在来種を含めた生物多様性の保全と外来種対策

●緑あふれる都市づくりに向けた緑の創出【緑を育む】

○緑化重点地区である地域拠点（植木地区、北部地区、楠・武蔵ヶ丘地区、八景水谷・清水亀井地区）、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸（国道3号、主要地方道37号、県道337号・303号）の緑化推進（壁面緑化・屋上緑化・多様な主体との連携による緑化等）や緑の維持管理（街路樹・植栽樹・公園の維持管理等）による地域の魅力向上

【各区共通】

- 宅地などの民有地・商業地・工業地におけるまちぐるみの緑化推進
- 学校、社会体育施設などの公共施設における緑化充実

●さまざまな機能を持つ緑の魅力づくり【緑を活かす】

- 立田山の遊歩道等の整備
- 市民ニーズに対応した住区基幹公園（八景水谷公園等）、歴史公園（武蔵塚公園、田原坂公園等）、緑地（坪井川緑地、寂心緑地等）の維持管理や活用

●緑を支える人づくり・組織づくり【緑を繋げる】

- 立田山等の森林における環境教育の場としての活用
- 立田山等における市民参加の自然観察会の開催の推進

【各区共通】

- 地域のボランティアや PTA 等と連携した学校緑化
- 公園愛護会の活動促進
- 公共施設愛護団体（道路ふれあい美化ボランティア、河川ふれあい美化ボランティア等）の育成や街路 樹愛護会の設置促進
- 森林ボランティアの育成
- 緑化活動を通じた健康づくりの実施



北区の田園地帯

北区の
緑化方針図

■地域拠点(植木地区、北部地区、楠・武蔵ヶ丘地区、八景水谷・清水亀井地区)、中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸の緑化推進や緑の維持管理による地域の魅力向上

■住区基幹公園(八景水谷公園等)・歴史公園(武蔵塚公園、田原坂公園等)・緑地(坪井川緑地、寂心緑地等)の維持管理や活用

■柿原台地、北部台地の斜面林の適切な維持管理

■八景水谷風致地区の緑の保全及び緑化の啓発

■白川等の自然環境に配慮した水辺空間形成の促進

■田原坂の森林の適切な維持管理

■立田山等における多面的機能を高度に発揮できる森林管理の推進

緑化重点地区

- 地域拠点の緑
- 中心市街地と地域拠点を結ぶ公共交通軸の緑

特色や地形を活かした3つのゾーン

- 豊かな緑を守り伝える自然環境保全・共生ゾーン
- 花と緑で彩る市街地の緑創出ゾーン
- 広大な田園を守り活かす田園共生ゾーン

法・条例による緑の保全

保安林	環境保護地区
県立自然公園	天然記念物
風致地区	景観計画の重点地域

協定による緑の保全

- 緑地協定

都市公園や河川等

- 都市公園(都市緑地)
- 河川沿いの緑化及び緑地保全

骨格となる交通網

高速道路	JR	市電
新幹線	熊本電鉄	主要道路